

# ★ちば県議会だより

### 党派別議員数

自民党	52人
民進党	19人
公明党	8人
共産党	5人
市民ネット・社民・無所属	4人
千翔会	2人
千葉県民の声	1人
いんば無所属の会	1人
無所属	1人
定数95人 現員93人	(平成29年10月11日現在)



県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会議務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索

## 九月定例会議会のあらし

九月定例会議会は、九月十四日に招集され、十月十一日までの二十八日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十九年年度一般会計補正予算等の議案十三件、報告三件及び決算認定についてが上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

九月二十一日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十二名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、災害対策、医療問題、環境問題、教育問題等について活発な議論が展開されました。

九月二十八日には、選挙関係の補正予算案、一議案が追加上程され、知事から提案理由の説明がありました。その後、先議となり、付託された議案について審査するため、総務防災常任委員会が開催され、本会議において、採決の結果、原案のとおり可決されました。

各常任委員会は、十月二日から四日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、議案一件が追加上程され、知事から提案理由の説明がありました。付託された議案について審査するため、環境生活警察常任委員会が開催され、本会議において、採決の結果、原案のとおり可決されました。

その後、意見書・決議案十六件が上程され、そのうち四件の意見書が可決され、今定例会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

## 代表質問

九月二十一日(木)



自民党 松下 浩明 議員 (山武市)

- 知事の政治姿勢
- 財政問題
- 子どもを虐待から守る基本計画
- 再生土の埋め立て
- 小規模企業の振興及び農林水産業の振興
- 医療問題



民進党 網中 肇 議員 (千葉市中央区)

- アレルギー疾患対策の充実・強化
- 中高年齢者の就労支援の強化
- 男女共同参画条例の早期制定
- 生活困窮者の自立支援策の充実
- 教員・職員の勤務環境の改善
- 再生土を規制する条例の制定

九月二十二日(金)



公明党 塚田 良治 議員 (市原市)

- 知事の政治姿勢/千葉県総合計画
- ユニバーサルデザイン二〇二〇の取り組み
- 石油コンビナートにおける防災対策
- 受動喫煙防止対策
- 千葉港を活用した農林水産物の輸出
- 県立中央図書館等



共産党 寺尾 賢 議員 (千葉市花見川区)

- 知事の政治姿勢/千葉県総合計画
- 国民健康保険の広域化・地域医療構想
- 農業問題・種子法の廃止
- エネルギー問題/石炭火力発電
- 新設計画
- 性的少数者・LGBTの人権
- 千葉市の花見川(印旛放水路)

九月二十五日(月)



市民ネット・社民・無所属 入江 晶子 議員 (佐倉市)

- 知事の政治姿勢/子どもの貧困
- 再生土埋立問題
- 医療・介護の連携、地域包括ケア
- 国民健康保険の都道府県化
- 印旛沼の環境再生とウナギの生息地保全
- スクールソーシャルワーカーの配置

※質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



## 「決算審査特別委員会」の設置



平成29年9月定例会議会において、千葉県の平成28年度一般会計及び特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。(委員名簿及び審査日程は3面に掲載)



### 可決された議案

- ◆平成二十九年年度補正予算関係(五件)
- ▽一般会計(二件)
- ▽特別会計(三件)
- ◆条例の一部改正(三件)

### 可決された意見書

- ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽使用料及び手数料条例
- ▽千葉県水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例
- ◆その他(七件)
- ▽千葉県行政に係る基本的かつ総合的な計画の変更
- ▽航空機の運航トラブルの原因究明の徹底と整備点検の強化等を求める意見書
- ▽食品衛生管理の国際標準化を求める意見書
- ▽道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書
- ▽小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書

### 千葉県議会ホームページ

県議会のさまざまな情報を掲載しています。

#### 主な掲載内容

- 県議会議員の紹介 ○傍聴のご案内
- 会議録検索 ○会議の概要
- 議会図書室の利用案内

千葉県議会 検索

### 千葉県議会ホームページで動画配信

- インターネット中継(ライブ・録画)
- 本会議及び予算委員会(過去3年分視聴可)

スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



千葉県議会 インターネット中継 検索



# 代表質問から

## 補正予算

■ 九月補正予算はどのような点に力を入れて編成したのか。  
また、平成二十九年度の収支の見通しはどうか。

■ 今回の補正予算では、六月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、

・保育基盤の一層の充実に向けた取り組みや、私立幼稚園の教員の給与改善経費に対する助成などの「子ども・子育て世代之への支援」  
・街頭防犯カメラの設置などの「くらしの安全・安心の確立」  
・オール千葉でのおもてなし機運の醸成や、食のおもてなし機力向上の取り組みなどの「千葉の魅力発信」  
などの経費を計上したほか、財政調整基金や県有施設長寿命化等推進基金への積み立てを行うこととした。

■ 今後の収支見通しについては、地方交付税が増収となることに加え、企業収益の増加などにより県税が堅調に推移する見通しだが、人事委員会勧告に基づく給与改定が見込まれること、現時点で財政調整基金からの多額の繰り入れを計上していることから、今後、執行段階のさらなる経費節減などに取り組んでいきたい。

うな点に重点を置いて取り組んでいくのか。

■ 人口減少や少子高齢化の中にあっても、本県ならではの強みである交流基盤や多様な魅力を活用して、女性や高齢者、障害のある方なども含めた全ての県民が活躍できる社会を築いていくことが重要である。

■ このため、実施計画においても、地域の医療・福祉体制の整備など、県民が健やかで生き生きと自分らしく暮らせる社会の構築や、保育所整備の促進により待機児童の解消を図るなど、子育てを地域社会全体で支える環境づくりを進めていく。

■ また、雇用対策、産業人材の育成に努めるほか、本県の優位性を生かした企業誘致や観光振興などにも積極的に取り組んでいく。

## オリンピック・パラリンピック

■ 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、開催県の知事としての決意はどうか。

■ 国では、今回の大会を、世界中の多くの人々が夢と希望を分かち合える歴史に残る大会にするとしており、本県としても、大会の成功に向けて、国、組織委員会、東京都と協力し、競技会場にふさわしい環境の整備や開催機運の醸成に取り組んでいく。

■ また、来県する選手・関係者、観客を温かく迎えられるよう、官民が一体となった「オール千葉」体制で、「おもてなし」の取り組みを進めている。

さらに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、さまざまな国や地域の人々との交流を深めるとともに、大会開催の効果を、地域の活性化をはじめとする本県の一層の発展につなげ、次世代にしっかりと引き継いでいく。

## 児童虐待防止

■ 千葉県子どもを虐待から守る条例に基づく基本計画に掲げる取り組み・方針の内容はどうか。

■ 計画素案では、児童虐待の発生防止、早期発見及び早期対応の徹底を図り、児童虐待死亡事例ゼロを目指している。

■ そのため、妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援により児童虐待の未然防止を図る「子育て世代包括支援センター」の設置促進、児童福祉司等の計画的な増員による児童相談所の体制強化、地域における専門人材の育成など、約二十項目にわたって、具体的な取り組みや数値目標を掲げている。

■ 県としては、市町村や関係機関とのさらなる連携を図りながら、本計画の着実な実施に努めることにより、全ての子供が虐待から守られ、幸せを実感しながら成長できる千葉県づくりに取り組んでいく。

## 再生土

■ 条例により、再生土の埋め立てを規制すべきと考えるかどうか。

■ 東京オリンピック・パラリンピックやリニア新幹線などに関

連する工事により、建設汚泥を原料とする再生土の埋め立てが増加すると見込まれるため、適正な埋め立てを確保することが今後重要となる。

■ 県民の安全・安心を確保するためには、再生土の埋め立てに對して、より実効性のある仕組みが必要である。

■ 現在、条例による規制について検討しており、早急に対応したい。

## 就労支援

■ 地域経済の持続的な成長のためには、女性や高齢者の就労支援や職業能力の向上が必要と考えるかどうか。

■ 多様な人材の活躍が求められる中、現状では求職者の能力・経験、希望する職種などと企業ニーズとの間でミスマッチが生じており、その解消が最大の課題であると認識している。

■ 県では「千葉県ジョブサポートセンター」において、個別相談やセミナー、交流会等により、きめ細やかな就労支援に取り組んでおり、平成二十九年度は新たに、正社員として再就職を希望する女性を対象に、職場実習を取り入れたプログラムを実施することとした。

■ また、就職に必要な職業能力を身につけてもらうために、女性や高齢者などの求職者に対して、広く求められる能力や、求人との多い職域などを勘案し、パソコン、経理簿記、介護、建設など幅広い分野の職業訓練を、民間教育機関等を活用して実施している。

## 園芸農業

■ 園芸産出額全国第一位の奪還に向け、どのように取り組んでいるのか。

■ 本県の野菜、果樹、花植木などの園芸産出額を伸ばすためには、産地の生産力強化を図るとともに、大口化する需要に対応できる出荷体制を構築することが、重要であると認識している。

■ このため県では、集出荷貯蔵施設の整備、意欲ある担い手の園芸用ハウスや、省力化機械の導入等に対する支援

■ 産地ごとに異なる出荷規格や容器の統一化による出荷ロットの拡大  
■ 今後、さらに、地域の関係機関と密接な連携のもと、集出荷貯蔵施設の再編や処理能力向上への支援、ICTによる生産管理や、収量の増加に寄与する炭酸ガス施用装置の活用など、一層の生産力強化を図り、園芸産出額第一位奪還を目指していく。

■ また、ひとり親世帯については、これまで、当選確率が高くなるよう配慮している。平成二十九年度からは、十八歳未満の子を扶養している子育て世帯に対する優先枠を設定し、ひとり親世帯もこの優先枠に応募してもらっている。

■ 七月募集の実績では、十五戸の優先枠に対し、ひとり親世帯は七世帯が入居できる見込みであり、今後も、この優先枠を継

## 種子法

■ 種子法廃止が決まったが、本県では、種子法による安全・良質で安価な種子の提供が、コメ農家を支援し、県の稲作振興に大きな役割を果たしてきたと考えるが、どう認識しているのか。

■ これまで県では、種子法に基づき、県内で普及すべき優良な品種の選定、種子生産ほ場の指定による計画的な生産、ほ場審査及び生産物審査による優良な種子の確保など、種子の生産について中心的な役割を担ってきた。

■ これらの取り組みの結果、良質な種子が安定的に供給され、早生では「ふさおとめ」、中生では「ふさこがね」などの良食味品種への転換が進んできたところである。

## 県営住宅

■ 県営住宅における、ひとり親世帯の応募件数に対する入居件数と全体の入居割合はどうか。

■ また、ひとり親世帯への優先入居枠を設ける必要があると考えるかどうか。

■ 平成二十八年度において、ひとり親世帯の県営住宅への応募件数は千三百七十一件、入居件数は二百四十一件で、応募倍率は五・七倍となっており、近年の応募倍率は、減少傾向である。

■ なお、全世帯に対するひとり親世帯の入居割合は、一八％となっている。

■ また、ひとり親世帯については、これまで、当選確率が高くなるよう配慮している。平成二十九年度からは、十八歳未満の子を扶養している子育て世帯に対する優先枠を設定し、ひとり親世帯もこの優先枠に応募してもらっている。

## 教職員のメンタルヘルス

■ ストレスチェックを中心とした、県教育委員会のメンタルヘルス対策の実施状況はどうか。

■ 平成二十八年度に、県立学校の教職員を対象に実施したストレスチェックでは、全体の九四％に当たる一万四百六十五名の回答があり、このうち四・四％に当たる四百六十三名に面接指導が必要と判定された。

■ また、校長に申し出て、面接指導を受診した者は、面接が必要と判定された者の五・四％に当たる二十五名であった。

■ なお、このストレスチェックの結果を集計したところ、県立学校教職員全体としては、国が示している健康問題が起る危険度に関する全国の基準値をやや下回っている。

■ 県教育委員会では、研修会の開催や啓発資料の作成・配付等により、メンタルヘルス対策の推進に努めているところである。

■ また、各県立学校においても、衛生委員会を活用しながら、必要に応じて職場環境の改善を行っており、平成二十八年度における衛生委員会の平均開催回数は、年二・四回であった。

## 新総合計画

■ 四年間の実施計画でどのよ





各常任委員会の  
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 幼稚園教員の人材確保支援事業は、幼稚園に費用の二分の一の負担があることから、多くの幼稚園に利用してもらえないのではないかと。

答 平成二十九年六月補正予算で、私立幼稚園教員の処遇改善も見据え、経常費に対する県の補助単価を大幅に増額したところであり、これに、国の補助単価の増分も含めると、園児一人当たりの助成単価は約三千四百円の増額になっている。

総合企画水道常任委員会

問 新たな総合計画を策定するに当たり、市町村、各種団体、パブリックコメントで寄せられた意見への対応はどうか。

答 県民に分かりやすい計画とすべき、人工知能や情報通信技術などの新しい流れを意識すべき、また、市町村の特徴的な取り組みの記載が

必要、といった意見を踏まえ、文案を修正した。

健康福祉常任委員会

問 今後の千葉県袖ヶ浦福祉センターのあり方について、どのように考えているのか。

答 養育園は、被虐待児童のシエルター機能や相談・療育支援などの機能・役割があり、また、更生園は、強度行動障害支援等拠点としての機能・役割がある。

環境生活警察常任委員会

問 街頭防犯カメラシステム整備事業の内容は、どのようなものか。

また、運用に伴うプライバシーの侵害についてはどうか。

答 県下で刑法犯認知件数が多い警察署管内の主要駅周辺に五十台の街頭防犯カメラを設置し、犯罪の予防や事件・事故発生時の初動捜査を的確に行うことなどを目的に実施する事業である。

商工労働企業常任委員会

問 中小企業の振興に関する条例を改正し、小規模企業の重要性等を明示することは、その振興を図る県の明確な姿勢を示すものとして高く評価する。

そこで、小規模企業が置かれている厳しい現状を踏まえ、今後、どのように小規模企業の振興を図っていくのか。

答 平成二十九年途中で策定する予定である「第四次ちば中小企業元気戦略」の中で、小規模企業振興を重要な柱として位置づけるとともに、小規模企業や、商工団体などの意見を踏まえ、具体的な施策を検討していく。

農林水産常任委員会

問 策定を進めている次期農林水産業振興計画の目標と達成に向けた取り組みはどうか。

答 農業分野では、農業産出額全国第二位、四千五百億円を目標とし、販売力の強化と産地の生産力強化に取り組んでいく。

水産分野では、海面陸揚金額全国第三位、五百六十億円を目標とし、つくり育てる漁業や流通・加工体制の機能強化に取り組んでいく。

また、農林水産物などの地域資源を活用して、農山漁村の活性化を進め、これらを着実に実施することにより、農林漁業者の所得向上を図っていく。

県土整備常任委員会

問 道路公社への委託費が減額となるが、平成二十九年十二月末の九十九里有料道路全線開通に影響はないか。

また、九月二十八日の大雨による工期への影響はどうか。

答 委託費の減額は、道路のかさ上げ工事に関連しないことから、開通予定時期の変更はない。

文教常任委員会

問 千葉県総合スポーツセンター野球場耐震・大規模改修事業の内容は、どのようなものか。

答 平成三十年度から三十一年度にかけて、耐震改修、スコアボードのLED化、観客席改修を含む老朽化対策、公認規格に対応する両翼及びセンターの延伸、施設のバリアフリー化などを予定している。



決算審査特別委員会

委員名簿

	◎委員長			○副委員長		
自民党	野 彰	江野澤 吉 克	澤 浩 明	藤 幹 人	石 井 一 美	五十嵐 博 文
民進党	伊 藤 昌 弘	高 橋 浩	野 田 剛 彦	中 沢 裕 隆	三 沢 智	田 村 耕 作
公明党	林 幹 人	丸 山 慎 一	ふじしろ 政 夫	中 田 学 介	大 崎 雄 介	
共産党	中 沢 裕 隆					
市民ネット・社民・無所属						

審査日程(開会時間 各日午前10時)

10月13日(金)・16日(月)・18日(水)、11月8日(水)・10日(金)・13日(月)

常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県 常任委員会 調査 検索

健康福祉常任委員会

日にち 平成29年10月2日(月)  
調査先 かずさDNA研究所(木更津市)  
内容 希少難病の遺伝子検査の実施状況や、県がんセンターとの共同研究などの取り組みについて調査しました。



研究所職員に質問をする委員

文教常任委員会

日にち 平成29年10月2日(月)  
調査先 県立船橋高校定時制(船橋市)  
内容 給食の喫食率が低くなっていることから、生徒たちの食習慣の状況や、給食を実施していく中での問題点を調査しました。



生徒たちと給食を準備する委員

環境生活警察常任委員会

日にち 平成29年10月4日(水)  
調査先 印旛沼(佐倉市)  
内容 特定外来生物に指定されているカミツキガメが多く生息している西印旛沼周辺を視察し、生態や防除の取り組みを調査しました。



カメの捕獲方法などの説明を受ける委員

総務防災常任委員会

日にち 平成29年10月5日(木)  
調査先 県香取合同庁舎(香取市)  
内容 地域の防災拠点としての機能強化、建物の免震構造や液状化対策、バリアフリー対応など、新施設の整備状況を調査しました。



建物の構造について説明を受ける委員



ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

九月二十五日(月)



自民党 石井 一美 議員 (鎌ヶ谷市)

北千葉道路  
新成線連続立体交差事業  
新鎌ヶ谷駅周辺の県有地  
保育士の処遇改善



民進党 松戸 隆政 議員 (松戸市)

認知症  
防災  
LINE等のSNSいじめ  
松戸市立総合医療センター



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

公共事業  
農林水産業の振興  
台湾との多角的な交流  
県立高校跡地等の有効活用



自民党 臼井 正一 議員 (千葉市美浜区)

京葉線の機能強化  
千葉リハビリテーションセンター  
看取り  
県営住宅

医療・福祉  
教育  
運転免許証の更新手続  
都市公園の活性化



公明党 横山 秀明 議員 (八千代市)



自民党 佐藤 正己 議員 (習志野市)

新総合計画における戦略的  
企業誘致  
幕張新都心  
道路問題  
未利用県有地



自民党 戸村 勝幸 議員 (香取郡)

防災対策(国土強靱化、消防団)  
児童虐待防止  
農業問題(産干消、酪農)  
成田空港問題



自民党 石橋 清孝 議員 (東金市)

有害鳥獣対策  
東千葉メディカルセンター  
成田国際空港  
GAPの認証



自民党 中沢 裕隆 議員 (柏市)

柏地域の経済活性化  
「地域医療構想」と「周産期医療」  
「外国語授業」と「いじめ問題」  
柏市における警察力の強化

水産業  
農業  
特別養護老人ホーム  
女性警察官の登用



自民党 木下 敬二 議員 (南房総市・安房郡)



民進党 矢崎 堅太郎 議員 (浦安市)

働き方改革  
重症心身障害児の支援  
千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター  
東葉高速鉄道



いんば無所属の会 岩井 泰憲 議員 (印旛郡)

房総のむら  
JR成田線の成田空港への直通運転  
栄町消防への県の支援  
長門川の護岸整備



民進党 安藤 じゅんこ 議員 (松戸市)

消防・防災  
医療・福祉・子育て  
教育行政  
電子申請



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

福祉問題  
林業  
水道事業  
教育問題

九月二十八日(木)

成田市(旧下総町)の残土処分場  
匝瑳市と佐倉市での再生土埋め立て  
子どもの貧困対策・子ども食堂  
県立学校のエアコン整備



共産党 三輪 由美 議員 (松戸市)

子育て支援  
教育問題  
都市農業  
東葉高速鉄道



自民党 茂呂 剛 議員 (八千代市)

開発行為における雨水排水処理  
市町村マスタープランの実現  
成田空港周辺物流



自民党 五十嵐 博文 議員 (富里市)

平成29年12月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議予定時間
11月29日(水)	開会 <span style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">TV</span>	午前10時~
12月5日(火)	質疑並びに一般質問 <span style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">TV</span>	//
6日(水)	// <span style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">TV</span>	//
7日(木)	//	//
8日(金)	//	//
11日(月)	//	//
12日(火)	//	//
14日(木)	常任委員会(総務防災・総合企画水道)	//
15日(金)	// (健康福祉・環境生活警察)	//
18日(月)	// (商工労働企業・農林水産)	//
19日(火)	// (県土整備・文教)	//
22日(金)	閉会	午後1時~

TV…チバテレビで生放送(手話通訳つき)されます。  
※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会でご協議されます。  
※議会ホームページでは、全ての本会議の様態を見ることができます。

9月定例県議会 知事あいさつ



今回提案しました案件は、平成29年度の補正予算案、各種条例案及びその他附帯議案の13議案のほか、報告3件並びに平成28年度の決算認定についてです。

今回の補正予算では、6月補正予算編成後の状況の変化を踏まえ、「くらし満足度日本一」の千葉を目指して、「子ども・子育て世代への支援」、「くらしの安全・安心の確立」など、緊急的に取り組むべき事業を計上しました。

また、年度間の財源の調整を図り、健全な財政運営に資するため、平成28年度の決算剰余金の2分の1を財政調整基金に積み立てるとともに、今後の県有施設の更新等に備えて、県有施設長寿命化等推進基金への積立も行います。

この結果、補正額は89億7,850万余円の増額で、補正後の予算額は1兆7,351億4,008万余円となります。

●子ども・子育て世代への支援

保育基盤の一層の充実に向け、保育士の定着及び保育の質の向上を図るためのキャリアアップ研修を行うほか、賃貸物件を活用した保育所を整備するための賃借料への助成や、保育所において医療的ケア児を受け入れるための看護師雇用への助成を新たに実施します。

また、私立幼稚園の教員の給与改善経費に対する助成を行うとともに、私立小・中学校に通う児童生徒のいる低所得世帯を対象とした授業料負担軽減の実証事業を実施します。

●医療・福祉の充実

医療機関が患者情報を共有して質の高い医療を提供する医療情報連携システムの導入助成について、対象医療機関の増加に伴い予算を増額するほか、医療・介護分野のさまざまな課題に対応するため、基金への積み増しを行います。

また、千葉県袖ヶ浦福祉センターについて、平成30年度以降の指定管理者を指定するための債務負担行為を設定します。

●くらしの安全・安心の確立

犯罪の予防や発生時の迅速な対応を図るため、主

要駅周辺を中心に街頭防犯カメラを設置するとともに、110番通報に迅速かつ的確に対応するため、通信指令システムの更新を行います。  
また、大雨等により崩落・倒壊した河川護岸の復旧工事を実施します。

●産業振興・社会基盤の整備

千葉県総合スポーツセンター野球場について、耐震化と施設機能の充実を図るための改修工事を実施します。

また、県産木材の利用促進に向けた県営林の森林認証の取得や、銚子市の外川漁港の機能強化に向けた施設整備を実施します。

このほか、いすみ鉄道の鉄道基盤等の整備に対する補助について、必要な経費を計上します。

●千葉の魅力発信

東京オリンピック・パラリンピックの開催を3年後に控え、本県の「おもてなし」を一層充実させるため、オール千葉でのおもてなし機運の醸成を図るとともに、農林水産物直売所等のおもてなし力の向上や、県の伝統郷土料理等の情報発信に向けた取り組みを推進します。

そのほか、議案についての概要説明がありました。知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

千葉県議会 インターネット中継 検索